

団体名：大内農産物直売所 「ひまわり会」

代表者：会長 佐々木 源治

所在地：秋田県由利本荘市岩谷町

〔ポイント〕

平成11年9月農産物の新たな販路拡大と複合経営の安定を目指し、町内で直売活動をしてきた朝市メンバーを中心に「ひまわり会」を設立。

平成12年4月大内町総合交流ターミナルの物品コーナー内に直売所を開設、会員58名で直売活動をスタート。

三役を含む運営委員会を核として8つの専門部会で構成されており、組織内のルールはこれらの専門部会を通して生産者レベルにまで徹底。

自立した運営体制の確立の下、直売活動をはじめ各種イベントの開催による地産地消の推進、学校給食への食材提供や体験学習などを通じた食育にも取り組む。

【活動の内容】

1. 消費者ニーズに対応した農産物の提供
新鮮で安全・安心な商品を安価で消費者へ提供するため、会員が市況調査を行って作成した「価格ガイドライン」に基づいて価格を設定。良質の農産物が生産されている。
2. 顔の見える関係づくり
旬を感じる試食会やプレゼント等のイベントを開催して消費者との対話やふれあいの機会を設け、顔の見える関係づくりに努める。
消費者を対象とした圃場見学会や体験交流会では、作業体験を通じた意見交換等で意識の共有を進める。
3. 加工品開発・商品化と多様な販売の展開
加工施設を活用し、プロの職人から技術を習得しながら新商品の開発に努めている。
加工肉販売、菓子製造、乳類営業等の許可を得て道の駅のレストランや宿泊施設へも食材を提供。
4. 子どもたちへの食育の推進
学校給食へ47品目にわたる食材を提供。児童や園児を対象とした農作業体験を実施し、地域の食文化や農業への理解を求めている。
5. 環境への配慮
地域の畜産農家から生産される良質な堆肥を利用し、化学肥料や農薬に頼らない農産物の生産を進めている。

【活動の成果】

1. 独自の運営体制による発展
価格ガイドラインの設定やクレームに対するペナルティー方式等を定めて、生産者が責任を持って商品を提供するようになり、消費者から信頼を得ることができた。
2. 顔の見える関係づくり
イベントの他、会員の畑を利用した体験学習の受入により、消費者と交流を図り、生の声を聞くことで消費者ニーズを反映した新たな作物導入への取組が意欲的に行われ、アイデアの創出や活動の拡大につながっている。
3. 地域の農業の変化
今までになかった品目まで直売所に並ぶようになり、地域農業のレベルアップが図られた。地域の豆腐屋やパン職人が会員として参加しており、地域全体が活性化された。
4. 地域社会に及ぼした影響
学校給食への地場農産物の提供を契機に児童、園児への食農教育の推進へと発展した。